平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅡA (SeminarⅡA) 【武田ゼミ】			授業コード	E002404
担当教員名	武田　正芳			科目ナンバリングコード	E21201
配当学年	2	開講期	前期		
必修・選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	ゼミは発表・討論を通じて学ぶ場です。積極的な発言、討論参加を期待します。 全ての測定データ(身長・体重・体脂肪率等)を用い講義を進めていきます。データの取り扱いは注意してください。				
受講心得	無断欠席をしないようにしてください。				
教科書	ゼミの進行に伴い資料を配付します。				
参考文献及び指定図書	特になし。				
関連科目	健康の科学、生涯スポーツ指導、スポーツサイエンス、NSCA認定校カリキュラム科目				

授業の目的	近年健康的な生活を送るために体脂肪率の測定や、肥満度の判定としてBMIが用いられています。また、体育スポーツの分野でも形態計測、身体組成の測定や体力測定が行われています。 その様々な測定方法や評価方法についてその理論と手法を学習し，実際に使用する上での実践力の習得を目指します。
授業の概要	形態計測の方法が示されている文献をもとに、身長や体重の測定方法から、周経囲・肢長、皮下脂肪厚の測定方法を学び、実際に測定します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： オリエンテーション 授業の形態、出欠・成績評価方法、受講態度、授業内容の説明を行います。	大学生活について、将来の目標、現在の取り組み等まとめる。(2時間) 次回の講義内容について予習をする。 キーワード:形態計測・身体組成測定・体力測定(2時間)
第 2 週 ： 形態計測・身体組成測定・体力測定、面接 形態計測・身体組成測定・体力測定の先行研究を読み学習します。 大学生活について、将来の目標、現在の取り組みについて聞き取り調査を行います。	配付資料を読み返し整理する。(2時間) 次回の講義内容について予習をする。 キーワード:形態計測・身体組成測定・体力測定(2時間)

第 3 週 ： 形態計測・身体組成測定・体力測定、面接 形態計測・身体組成測定・体力測定の先行研究を読み学習します。 大学生活について、将来の目標、現在の取り組みについて聞き取り調査を行います。	配付資料を読み返し整理する。（2時間） 次回の講義内容について予習をする。 キーワード：形態計測・身体組成測定・体力測定（2時間）
第 4 週 ： 形態計測・身体組成測定・体力測定、面接 形態計測・身体組成測定・体力測定の先行研究を読み学習します。 大学生活について、将来の目標、現在の取り組みについて聞き取り調査を行います。	配付資料を読み返し整理する。（2時間） 次回の講義内容について予習をする。 キーワード：形態計測（2時間）
第 5 週 ： 身長・体重の測定方法 配付資料を基に測定方法を学習します。	配付資料を読み返し整理する。（2時間） 次回の講義内容について予習をする。 キーワード：形態計測測定法（2時間）
第 6 週 ： 身長・体重の測定 実際に測定します。	測定方法を振り返りまとめる。（2時間） 次回の講義内容について予習をする。 キーワード：形態計測測定法（2時間）
第 7 週 ： 測定データ(身長・体重)の集計 測定したデータを集計しその結果に基づき全員で討論します。	討論の結果を振り返り整理する。（2時間） 次回の講義内容について予習をする。 キーワード：形態計測（2時間）
第 8 週 ： 周経囲・肢長等の測定方法 配付資料を基に測定方法を学習します。	配付資料を読み返し整理する。（2時間） 次回の講義内容について予習をする。 キーワード：形態計測（2時間）

第 9 週 : 周経囲・肢長等の測定 実際に測定します。	測定方法を振り返りまとめる。(2時間) 次回の講義内容について予習をする。 キーワード:形態計測測定法(2時間)
第10週 : 測定データ(周経囲・肢長等)の集計 測定したデータを集計しその結果に基づき全員で討論します。	討論の結果を振り返り整理する。(2時間) 次回の講義内容について予習をする。 キーワード:皮下脂肪(2時間)
第11週 : 皮下脂肪厚の測定方法 配付資料を基に測定方法を学習します。	配付資料を読み返し整理する。(2時間) 次回の講義内容について予習をする。 キーワード:皮下脂肪厚計(2時間)
第12週 : 皮下脂肪厚の測定 実際に測定します。	測定方法を振り返りまとめる。(2時間) 次回の講義内容について予習をする。 キーワード:形態計測測定法(2時間)
第13週 : 測定データ(皮下脂肪厚)の集計 測定したデータを集計しその結果に基づき全員で討論します。	討論の結果を振り返り整理する。(2時間) 次回の講義内容について予習をする。 キーワード:形態計測(2時間)
第14週 : 形態計測測定データの集計 測定した形態計測のデータを集計しその結果に基づき全員で討論します。	討論の結果を振り返り整理する。(2時間) 次回の講義内容について予習をする。 キーワード:形態計測(2時間)

第15週： 形態計測まとめ 測定した形態計測のデータを集計しその結果に基づき全員で討論します。	討論の結果を振り返り整理する。（2時間）
第16週：	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	身体がどういう状況にあるか、強い関心を持つ。
【知識・理解】	身体の状況について考えるために、基本的な測定方法等の知識を持つ。
【技能・表現・コミュニケーション】	身体の測定結果から、自分の考えを述べることができる。他人の意見を理解することができる。
【思考・判断・創造】	身体の測定結果から、どのような傾向にあるか論理的に考えることができる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**20点**		
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		**30点**		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**30点**		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**20点**		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	レポート、発表資料内容をもとに判断します。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

発表・その他 （無形成果）	